一般の部

《特選》

大切な友達

彦根総合高等学校　一年
寺村（てらむら）　厚希（あつき）　さん

私には今まで友達が一人もいませんでした。高校に入学して、初めて友達が出来ました。私の人生の中で、一番嬉しい出来事でした。

以前の私は、友達を作る必要がないと思っていました。私の性格は人見知りをするので人との関わりを避けて、一人で学校生活を過ごした方が、自身の気持ちが少しでも楽になると考えていました。ところが、ある日のこと、周囲を見ると仲の良い友達が集まって、楽しそうに話していたのを覚えています。私には友達がいなかったので、羨望の眼差しで見ていたことを思い出します。やはり、友達のいない私は、寂しく感じました。これから先、充実した学校生活を送るために、友達が必要であるのかを考えるいい機会となりました。両親からも、「友達が出来ないからと焦らずに、気持ちを楽にして。いつか友達が出来るから大丈夫。」と言われました。両親からの声掛けにより、精神的に気持ちが落ち着きました。

今の私には、掛け替えのない友達が出来ました。これからも、大切な友人として一緒に過ごしたいと思っています。

今年の夏休みは、初めて友達と一緒に出掛けました。私の大好きな映画を鑑賞した後で、感動した場面を談笑したり、食事をしながらお互いの共通の話題で盛り上がったりと、楽しい時間は駆け足で過ぎ去りました。また、友達と一緒に遊びたいと思う気持ちが強くなり、私にはとてもいい経験になりました。もうすぐ学校が始まり、友達に出会えることが、とても待ち遠しく思います。つまり、人と話すことにより、精神的に安定し、ストレスの発散が出来ました。

人間は、自分一人で生きていくことは不可能です。社会の中で、お互いに助け合いながら毎日生活していきます。私自身も、家族を初め周囲の皆さんに支えられています。将来、私も、自分に出来ることを見つけて、誰かの役に立てる日が来ることを願います。これからも友達を大切にする気持ちを忘れずに、自分の気持ちに素直に生きたいと思っています。

《選評》

人は、自分一人で生きていくことはできません。そういった意味から、自分の気持ちを素直に相手に伝え、また相手の気持ちをしっかりと受け止めることで、気の置けない友人関係を築き、良好な人間関係の一つとなりえます。その点を筆者はていねいに表現しており、さらに誰かの役に立てる日が来ることを願っていることまで書かれている点がよかったです。